

行政視察報告書

令和 2年 1月 28日

会 派 名 公明党市議団
会派代表者 鈴木 貢

(参加者：鈴木 貢、野下達哉、石原資泰)
行政視察の結果について、次のとおり報告します。

①

年月日	令和 2年 1月 23日 (木)
視察時間	13 : 30 ~ 15 : 30
視 察 先	神奈川県横須賀市
視察項目	子どもの学習支援について

②

年月日	令和 2年 1月 24日 (金)
視察時間	10 : 00 ~ 12 : 00
視 察 先	神奈川県座間市
視察項目	自立サポート相談について

行政視察報告書

①

年月日	令和 2 年 1 月 23 日 (木)
視察時間	13 : 30 ~ 15 : 30
視察先	神奈川県横須賀市
視察項目	子どもの学習支援について
■目的 生活困窮世帯の子どもの学習支援についての先進的な取り組みを視察して、江南市生活困窮者自立支援の取り組みの参考にするため。	
■内容 ○対象者 ・平成 28 年度より就学援助受給世帯の中学 3 年生 (週 1 回~2 回) ○実施方法 ・市内の市立中学校 (23 校) を対象に、3 校に 1 カ所会場を設置。 会場は、各地区のコミュニティセンター ○受講者数推移 平成 28 年度 14 名、実施 1 カ所 平成 29 年度 29 名、実施 2 カ所 平成 30 年度 34 名、実施 4 カ所 令和元年度 66 名、実施 6 カ所 (現在は 70 名) ○募集方法 ・教育委員会が 4 月初めに発送する就学援助決定通知書に、募集チラシを同封 ○事業の委託先 ※生活困窮者自立支援の国の補助金 (1/2) を活用 ・ N P O 法人 こどもの夢サポートセンター (5 カ所実施) N P O 法人 こどもの未来応援ラボ (1 カ所実施)	
■所感 参加している子どもたちは、途中でやめる子どもがいない。そしてほぼ全員が希望する高校へ進学している。との話を聞き、子どもたち 4 人に対して、先生が 1~2 人のマンツーマンの体制での指導、先生はほとんどが教員 O B など、誰一人も見捨てない徹底した支援をされていて素晴らしいと思いました。	

行政視察報告書

②

年月日	令和 2 年 1 月 24 日 (金)
視察時間	10 : 00 ~ 12 : 00
視察先	神奈川県座間市
視察項目	自立サポート相談について
■目的 「断らない相談支援」の先進的な取り組みを視察し、今後の江南市での取り組みの参考にするため。	
■内容 ○座間市の考え方 ・どんな相談も「断らない」まずは受け止める。 ・個の支援を通じた連携体制・地域づくり ○実施状況 ・生活保護率 17.62% (平成 31.4 月) 県内の一般市では最も高い。 ・相談支援状況 (平成 30 年度) 437 件 (月平均 28.1 件・・・10 万人当たり) ○地域のさまざまな取り組みとの連携 ・個の支援を通じて地域の関係者と知り合い協力を依頼する 多様な主体の参画による地域と行政が一体となった取り組み「チーム座間」 ○庁内連携の取り組み ・広報等 (市役所に直接相談することのハードルを下げる工夫) ・職員向け研修 (ゲートキーパー研修の実施) ・つなぐシートの活用 (必要な窓口への連携をスムーズにする) ○新たな取り組みについて ・移住支援推進事業、生活困窮者自立支援制度助言弁護士、支援会議の設置	
■所感 縦割り行政の中で、つなぐシートなど横断的に対応が出来る体制づくりと各職員のワンチームでの取り組みが素晴らしいと思いました。 また、自立を支援するだけでは孤立は解消しない。支援だけではなく応援が必要。とのお話に感動しました。	